

事業所名

放課後等デイサービス なないろきっず

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

3月

10日

法人（事業所）理念		<ul style="list-style-type: none"> 自立 -子ども達の「個性」を大切に、「自立」に向けて共に成長できる関係を築きます。 向上心-日々の支援に満足することなく、「学び」体験を多く持ち、ワクワクするような支援ができるように努めます。 感謝 -周りの方々への「ありがとう」気持ちを大切にします。 絆 -地域との関わりや交流の場を持つことで、社会の障壁を取り除き、人と人との繋がりを大事にします。 							
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 子ども達一人ひとりをきめ細やかに見ていく環境を作り、豊かな自然の中で五感を育てていきます。 成功体験を多く積むことで、将来の自立へと繋がられるよう支援を行う。 							
営業時間		9時	0分から	18時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし	
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 来所、退所または、おやつ等の際に、挨拶の時間を設け、挨拶が出来るように習慣づける。 手洗い、消毒などの基本的な生活習慣を身につけ、体調管理に努められるよう援助する。 持ち物の管理や片付けなどを自主的に行えるよう支援する。 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> プレイルームや広場での遊びを通して、体を動かすことの楽しさを知らせる ルールのある運動遊びを通して決まり事を覚えたり、子ども達同士との関わりの中で心と体が強くなるように促す。 運動器具（トランポリン・バランスボード等）を使って体幹を鍛え、姿勢保持に繋げていく。 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 空間認知、指先感覚を培い、身体をバランスよく使えるようにする。 場所を区切って、視覚刺激の少ない環境をつくる。 視覚的（絵カードやホワイトボードなど）に伝えることにより、見通しを立て安心して過ごせるようにする。 							
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達の言葉を支援者がしっかりと受け止め、気持ちを伝える喜びを知らせる。 人の気持ちに立って考えたり、相手の気持ちを考えながら言葉を掛けることが出来るように寄り添いながら伝えていく。 集団活動の中で、言葉でのコミュニケーションを取る大切さを学べるように支援していく。 							
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 集団活動やごっこ遊びを通して、人との関わり方やルールを身につけていく。 少人数での関わりや大人とのやり取りを基礎に、少しずつコミュニケーションの域を広げていけるように支援をする。 実社会での買い物や公共施設の利用を通して社会のルールを知る機会をつくる。 							
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> モニタリングや個別支援計画を作成する際、保護者との面談の機会を作る 送迎の際に、その日の出来事や様子を伝えて子どもの様子を保護者と共有する 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて学校や学童での様子を見学したり、情報を共有する 地域との関わりを密にし、就労に繋げていく 		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 他の事業所との情報を共有し連携を図る。 地域自治会の催しや行事に参加する。 ハロウィンパーティーや新鮮市場等での買い物体験を通して、地域の方と触れ合う 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> フィードバック研修や、子どもの情報をそれぞれ共有する場を作り、支援の質を高めていけるようにする 		
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練（火災・地震・洪水等 年2回以上行う）・野菜の苗植え 芋ほり体験 ・親子遠足 ・みかん狩り ・ハロウィンパーティー ・七夕 ・夏祭り ・お買い物体験 初詣 ・豆まき ・ひな祭り ・近隣の施設（体育館など）の利用 クリスマス会 ・クッキング（毎月） 							